

尼同教 60年

尼同教の結成とその後の取組 ④

尼崎市人権・同和教育研究協議会 副会長 三澤 雅俊

前号に引き続いて、尼同教のあゆみを、50周年記念誌「尼同教50年のあゆみ」で執筆していただいた故田中信行さんの「50年の足あと」をもとに振り返ってみたいと思います。

1972(昭和47)年より22年間にわたり尼同教の会長としてご苦労された田中大庄次郎さんが退任され、1994(平成6)年に人権擁護委員会から西村京三さんが会長に就かれました。田中大庄次郎さんの功績は多大であるとともに、田中会長を陰で支えてこられた副会長の吉野武雄さんの存在も忘れることができません。1997(平成9)年からは西村京三さんにかわり、キリスト教連合会の野村恭三さんが会長に就かれ、その後20年間にわたりご苦労いただきました。そして2016(平成28)年からは山居淳さん、2018(平成30)年から現在の寺岡陽子会長へと引き継がれています。

1991(平成3)年に第38回、1997(平成9)年には第44回兵同教*阪神地区大会を尼崎市で開催し、阪神6市1町の同教と研究の交流を行いました。1999(平成11)年には結成40周年を記念し、「尼同教40年のあゆみ」を刊行、全同教*の寺澤副委員長を招き記念講演を開催しました。この記念講演の中で、今後の活動の方向として「部落問題」を中心に、あらゆる差別や人権問題を新たな課題として取り組んでいくべきだと示されました。40周年以降の10年間は、こうした新しい環境の中での活動となりました。

まず、「同和対策関連法」が2002(平成14)年3月末日で失効することに伴い、行政組織の変更が生じました。1999(平成11)年に同和対策室が特別組織から定常組織に位置付けられ「人権啓発室」となり、教育委員会の同和教育室が「人権教育室」に変更されました。この人権教育室は2007(平成19)年に廃止され、その業務は総務部に引き継がれました。尼同教も環境の変化に合わせ、討議を重ねたうえ、2001(平成13)年の定期総会で「尼崎市人権・同和教育研究協議会」と改称し、新しい時代への一歩を踏み出しました。

また、会の名称変更の他に、尼崎市から活動を助成するために支出されていた「補助金」が、2005(平成17)年度から事業ごとの「委託料」に変更されました。このことにより、今までの自主的な活動に、一定の枠がはまったことは否めません。

一方、数名からスタートした個人会員が、現在は50名近くになっています。これらの個人会員の多くは、団体会員の代表として会の活動に関わっていた人たちで、所属団体から離れた後も尼同教活動を続けようとの意識、意欲の高い人たちであり、今後の尼同教の中核となる人たちであると言えます。(つづく)

*2020(令和2)年現在の略称は「兵人教」「全人教」です。

人権・ひとこと

PTA活動を通して「人権」に関わるまでは、「人権」というのは「人として生きるために皆が平等に持つ権利」「様々な差別問題に関する事を考える事」、そのような、言わば小難しい感じであると思っていました。

しかし講演会や会合に幾度か出席させていただき、「人権」はそれだけではなく、「日常にある当たり前の事」「何気なく起こしている行動」「何気なく言っている言葉」の中に、自分では気づかないうちに人の心を傷つけていたり、また逆に人の心に寄り添っていたりと、人と人との関わりによって起こる全ての事に「人権」が存在しているのだと感じました。

「人は人によって喜びを感じ、人は人によって傷つく」

そんな毎日を当たり前で過ごすのではなく、一人一人が目の前の相手や周囲の事を思いやって過ごしていく、その繰り返しが、相手も自分も幸せな気持ちになることに繋がるのではないのでしょうか。

尼崎市PTA連合会副会長/尼同教副会長 橋本 達夫



尼同教では、団体会員・個人会員ともに随時募集しています。お気軽に事務局までご連絡ください☆

お知らせ

前号で募集した尼同教だよりの愛称に素敵なアイデアをお寄せいただきました。ありがとうございました。今号で発表の予定でしたが、次号もしくは2021(令和3)年度最初に発行する111号でお披露目できるように選考を進めています。申し訳ありませんが今しばらくお待ちください。

編集後記

今年度は、昨年末から続く新型コロナウイルス感染症による影響でいろいろな事が今まで通りとはいけなくなりました。そして、手洗いやマスク着用、ソーシャルディスタンスなどの新しい生活様式が入ってきて、だんだん浸透してきています。今号では、新役員紹介とともに、尼崎市の空襲の記録と人権スポットの紹介を掲載しています。尼崎市の人権の歴史をふり返ることのできるいい機会だと思います。

山本 育子/和田 季子/畑 靖宏/吉田 幸嗣

第109号

尼同教だより

発行：尼崎市人権・同和教育研究協議会

〒661-0024 尼崎市三反田町1-1-1 教育委員会事務局 社会教育課内
TEL:06-4950-0405 / FAX:06-4950-5658
E-mail:ama-syakaikyoiku@city.amagasaki.hyogo.jp



#正しい理解を
#差別はやめよう



◎公益財団法人 人権教育啓発推進センター

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の蔓延は、病気としての問題だけでなく、この病気が感染症であることから、社会不安を増大させ、感染者、医療従事者やその家族、関係する人たちに対しても不当な差別やいじめなどの人権侵害にまで発展するという大きな問題を生んでいます。

未知のウイルスに対する強い恐れが偏見を生み、遠ざけたい気持ちから差別が生まれますが、**恐れるべきは人ではなくウイルスです。**病気を理由に人を差別したり、職業や属性だけでレッテルを貼って排除することは絶対に許されません。

正しい知識を持ってすべての差別をなくしましょう!



STOP! コロナ差別 —差別をなくし正しい理解を— キャンペーン

2020(令和2)年度 定期総会

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会員が一堂に会することを取り止め、書面議決を行いました。全ての議案について、尼崎市人権・同和教育研究協議会規約第14条に基づき、書面表決権を有する会員(団体理事・代議員229名)の過半数の承認をもって可決されました。

役員・専門部長

- 会長 / 寺岡 陽子(個人会員)
- 副会長・社会教育部長 / 長澤 健祐(部落解放同盟塚口支部)
- 副会長・PTA 部長 / 橋本 達夫(尼崎市PTA連合会)
- 副会長 / 山本 育子(尼崎ユネスコ協会)
- 副会長 / 三澤 雅俊(個人会員)
- 副会長 / 能登 誠二(個人会員)
- 会計 / 伴 公子(尼崎市社会福祉協議会中央支部)
- 会計監査 / 谷村 明彦(尼崎市立小学校長会)
- 会計監査 / 荷出 芳万(尼崎市立中学校長会)
- 就学前教育部長(保育所) / 橋本 由紀(武庫南保育所)
- 就学前教育部長(幼稚園) / 上田 康夫(武庫幼稚園)
- 小学校教育部長 / 足立 靖(名和小学校)
- 中学校教育部長 / 増田 裕一(大庄北中学校)
- 高等学校教育部長 / 近藤 和弘(尼崎北高等学校)

事業の予定

- 尼同教推進大会 10月29日(木)
- 尼同教実践研究大会 1月21日(木) 分科会のみ実施
*新型コロナウイルス感染防止対策をして実施します。
- 兵人教阪神地区大会・中央大会・全人教大会 → 中止
- 他にも…「人権まんが」の公募を企画中!
詳細が決まり次第HP、チラシ等でお知らせします。



CONTENTS

- ・「平和への願い(尼崎市の空襲の記録)」
- ・「届け! 平和への願い」リーフレット紹介
- ・「尼同教の結成とその後の取組④」 尼崎市人権・同和教育研究協議会 副会長 三澤 雅俊さん
- ・「人権・ひとこと」 尼崎市PTA連合会副会長/尼同教 副会長 橋本 達夫さん



尼同教だよりのバックナンバーをご覧ください

尼崎市HP トップページ > くらし・手続き > はたらく・人権・男女共同参画 > 人権 > 尼崎市人権・同和教育研究協議会